

人権協シンボルマーク



いろんな人と人とのつながり、ふれあいを美浜のMと波でイメージしました。

ふれあい

美浜町人権尊重啓発協議会会報

第73号

発行：令和3年2月22日
(年3回発行)

編集：人権協広報部会

連絡先：美浜町教育委員会事務局

TEL 32-6708

FAX 32-9032

E-mail: jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp



↑アドレスの入力を省略できます

よしもと人権トーク&お笑いステージ

人権のつどい2020

12/sat
5

12月5日に、生涯学習センターなびあすで「人権のつどい2020」が開催されました。今年のつどいでは、「よしもと人権トーク&お笑いステージ」が行われ、第16代R-1グランプリ王者で盲目の漫談家の濱田祐太郎さんやお笑いコンビのおかずクラブ、マテンロウの3組が登場しました。

一見、「お笑い」と「人権」という正反対のコンテンツのように思われましたが、3組のみなさんは自身の障害や容姿、性別等をネタにした軽快なトークや漫才を披露して、会場を大いに盛り上げていました。

盲目の漫談家・濱田祐太郎さんと司会を務めた音楽家・大西泰敬さんとのトークでは、濱田さんの視覚障害に関するさまざまな体験談が紹介されました。その中で、濱田さんがおっしゃった「最弱こそ最強」という言葉は多くの人々の心に残ったことと思います。

これまでとは一味違った人権のつどいには約250人が参加し、大好評で幕を下ろしました。

とても楽しい会でした。「笑う」ってスッキリしますね。ゆいPさんが言っていた「自分が幸せなら、周りにやさしくできる」という言葉がなるほど!と思いました。まず、自分を大切に、周りの人にも優しくできるようにしたいです。毎年人権のつどいでたくさんの気付きがあるので、今年も開催されてとても嬉しいです。

例年になく楽しい企画の「人権のつどい」でした。「人権」という堅いイメージを今回のような肩肘はらない出し物の中で、考える機会を作ってくださった人権協のスタッフの皆さんお疲れさまでした。

だれもが人間らしく幸せに生きたいと思っているはずです。思いやりの気持ちが大切だと思います。

マテンロウ

アントニー

大トニー

濱田祐太郎

オカリナ

おかずクラブ

ゆいP

大西泰敬

地村保志氏講演会

12/sat
19

北朝鮮による拉致被害者の地村保志さん(65)の講演会が12月19日、生涯学習センターなびあすで開かれました。

地村さんは、拉致された時の様子や帰国されるまでの北朝鮮での状況などを振り返り、現在も解決していない拉致問題の早期解決を訴えました。

また、拉致被害者家族の高齢化の現状にも触れ、危機感を訴えるなど、今後も拉致問題を風化させないための活動を続けていくと強調されました。

講演会終了後、ドキュメンタリー映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」も上映され、参加者約80人が視聴しました。



早く帰ってくることを望む。
風化させてはいけません。

拉致問題や北朝鮮について知らないことをたくさん学ぶことができました。北朝鮮への偏見があったけれど、地村さんの話を聞いて考え方が変わりました。拉致問題や戦争、部落差別など考える側の世代交代が心配されるようになりました。無知のまま教壇に立つことがないように参加させて頂きました。いろいろ考える時間になりました。

拉致問題、何もできませんが、決して忘れていません。1日も一刻でも早い解決を心より願っています。地村さんのお話、興味深く聞かせて頂きました。

とても興味深いお話であったという間の一時間半でした。生まれ育った背景、教育の背景を考えてお互い理解し合っていかなければならないと強く感じました。地村さんのお話もっともっとお聞きしたかったです。

人権ライブラリー 覗いてみませんか？

71号でも少し紹介させていただきましたが、美浜町の「人権ライブラリー」はとても充実しています。
「えっ、こんなテーマも人権なの？」と置いていただけるような、多岐にわたるラインナップです！



今回はその中から、戦争と平和をテーマにしたマンガとDVDを紹介します。

戦後75年が経過して戦争体験者が少なくなるのと同時に、近隣諸国との断分を因るような憎しみの言葉や言説がメディアやSNSに目立つようになりました。

破壊と殺戮をもたらす「戦争」への想像力が急速に失われているような気がします。

戦争の時代に生きた人々が何を見たのか、何を感じたのか、何に苦しんだのか。私たちも未来の世代に繋げていくためにも、知っておく必要があるのだと思います。



人権ライブラリーは
 なびとしよに
 あります！

「ペリリュウ」(マンガ)

美しい南方の島、ペリリュウが舞台です。『あしたのジョー』の作者、ちばてつやさんがこのマンガを紹介しています。



『若くて可愛らしい日本の兵隊さんが南海の美しいサンゴ礁の島で「戦争」という地獄にまきこまれていくリアル。今こそ、子どもから大人まで、いや、世界中の人々に読んで貰いたいマンガだ。』

「涙に浮かぶ記憶 ～戦争を次世代に伝えて～」 (ドキュメント DVD)

「なぜ日本は戦争を止められなかったのか」その疑問を中学生3年の女の子が、戦争体験者の曾祖父から聞き出しながら戦争への拡大の足跡を資料映像で辿っていくものです。

「アゲハがとんだ -1945・3・10 東京大空襲-」 (アニメーション DVD)

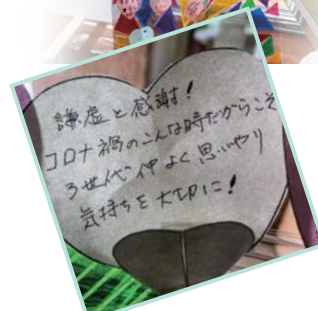
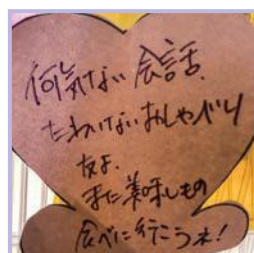
戦争とは何か、平和とは何か。戦争を真摯に受け止め、記憶に刻み、次の世代に引き継ぐための一助となるよう、制作されています。

2020人権共同作品「はあとふるふる hearts full」

人権協では毎年、12月4日からの人権週間にあわせて、なびあすに来場いただいた多くの皆さんに参加していただき、人権共同作品作りを行っています。

今年は「はあとふるふる hearts full」と題し、みなさんの心の中にある「あったかい思い出」「ほっとする場所や仲間」「ぼかぼかする言葉」「きゅんきゅんするメッセージ」などなど、**「はあとふるふる」**なことを書いてもらっています。

オブジェは現在もなびあすに展示してあります。なびあすにお越しの際にはぜひともご覧いただき、オブジェづくりに参加していただけたらと思います。





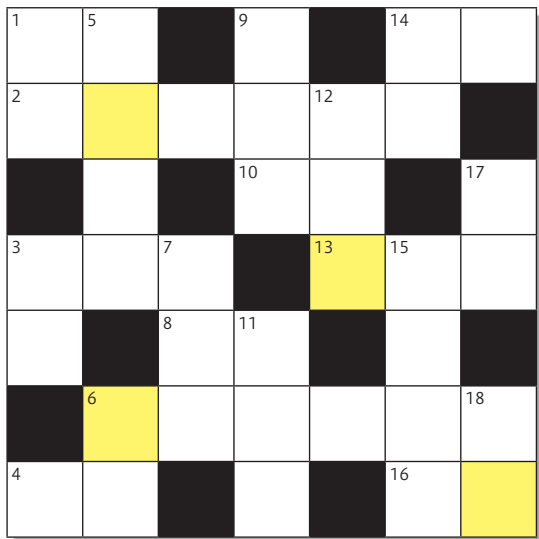
「ふれあい」第72号をお読みになった読者の方より、多数のおたよりが寄せられました。ありがとうございます。紙面の都合上、その中のいくつかを紹介します。これからもみなさんの「声」をお届けいただけると幸いです。

◆最近よく「LGBT」という言葉を聞くようになったけど、まだどういう意味がよくわかってなかったし、当人の苦労や苦悩を知ろうともしてなかったなと感じました。「LGBT」ということをオープンに話していただく人がいることで、私たちは「LGBT」について理解することができているのだと思います。これが当然だとか、普通だとかの固定概念を取り払って、すべての人が伸び伸びと生きられる社会にできたらいいなと思いました。

三木幸美さんの記事では「恐れるべきはウイルスのはずなのに…」というのが印象に残りました。今の社会の問題点をつかれていたなと思ったし、また、未来への希望も持たせてくれる記事だなと思いました。本公演が楽しみです。(Y.Mさん)

◆「ふれあい」をパッと見たとき、全体的に柔らかい、あたたかい感じの広報誌でとても読みやすいです。様々な情報が記載されており、いつも勉強させていただいています。(I.Yさん)

◆お疲れ様です。家族でクロスワードをワイワイと楽しく解きました。また挑戦したいです。家族で同じクイズをするキッカケを作って頂きありがとうございました。また、いろいろな記事を、時間を作り読ませていただきたいと思います。(K.Cさん)



■ 応募方法 ■ (郵送、FAX、E-mailいずれかをお願いします)

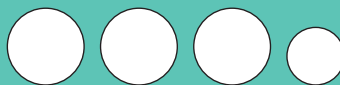
- 答え・住所・氏名を巻末の用紙に書いて下記までお送り下さい。
〒919-1192 美浜町郷市25-25 人権協事務局(教育委員会事務局内)
※ FAX(0770-32-9032)
E-mail(jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp)



- 〆切は、令和3年〇月〇日(金)です。(当日消印有効)
- 正解者の中から抽選で、図書カードをお送りします。
- 前号の人権クロスワードの正解は「つながり」でした。
たくさんのご応募、ありがとうございました。正解者は13名でした。
今回の当選者は **金津 千代美さん 嶋田 悠人さん 兼松 栄一さん**
山田 美智子さん 武田 将志さん

以上の皆さんです。おめでとうございます!

人権クロスワードパズル 黄色のわくの中の文字を使ってできる言葉が答えです。



タテのカギ

1. 鋭いくちばしを持つ鳥。
3. 回転するものの中心のこと。
5. 魚や野菜などに、衣をつけて揚げた料理。
6. 現在より以前の時。
7. 用件などを書いて貼り付ける紙のこと。
9. 冬に冷たい寒気がやってくる現象のこと。
11. 邪馬台国の女王。
12. 真夜中のこと。
14. 農家の物置小屋のこと。
15. ランドルト環で測定するもの。
17. カイコが口から糸をはいて作る殻状の覆い。
18. 今年の干支。

ヨコのカギ

1. 上下の方向。
2. 多数の箱に客を乗せて回転する装置。遊園地にあります。
3. キリンを英語で言うこと。
4. 左右の方向。
6. 砂糖や水あめのように、食品に甘みをつける調味料のこと。
8. 植物に肥料を与えること。
10. 小麦粉やライ麦粉などに少量の塩を入れて水でこね、酵母で発酵させてから天火などで焼いた食品。
13. 野球で、投手と捕手以外の守備の選手のこと。
14. アメリカ航空宇宙局。
16. 髪の毛をすく時に使う道具。

編集後記

◆令和2年度最後の広報ふれあいとなりました。いつもなら人権講座の様子や感想を載せたり、人と人とがふれあう話題を取り上げたりするのですが、コロナ禍の中、紙面作りに苦労する一年となりました。◆この広報紙の中で第4号からずっと変わっていないものがあります。それは、この編集後記の上にある人権クロスワードパズルです。広報部会のメンバーの一人が作ってくれているのですが、匠とも言えるそのできばえにいつも感心させられます。◆編集会議でキーワードを何にするかを全員で考えます。これまでに68のキーワードがありますが、できるだけかぶらないように、そしてできるだけポジティブでふれあいがイメージできるような言葉を探します。会議で一番時間をかける場面かも

しれません。◆今年度はここまで「エール」「つながり」ときましたが、ほかにも候補に挙がった言葉がたくさんあります。えがおいのち・あんしん・いたわり・かぞく・きくばり・しんらいかがやき、などです。今年は、特にコロナの終息を願った言葉がたくさん出されたように思います。◆まだまだステイホームが基本の生活が続くかと思えます。心を耕し、頭の体操も兼ねて、この広報紙を手にとっていただけたら幸いです。ついでに日頃の思いなども綴って、ぜひ人権クロスワードパズルにご応募下さい。それが何よりの私たちの励みとなりますので。◆次年度、人権協は25周年を迎えます。コロナの終息はまだかもしませんが、ふれあいの多い、よい年になりますように。(西)